

# 人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。



## 友達から友達へ つながる言葉

両開小学校5年  
江崎 悠乃さん

私のまわりには、友達がたくさんいます。はげましてくれたり、笑わせてくれたりするいろいろな友達がいます。友達がいると、いつも元気になります。

ある日、サッカーをしていて、ボールが私の顔にあたりました。まわりのみんなが、「だいじょうぶ。」と言って、手を貸してくれました。心配してくれるそのひと言が、とてもうれしかったです。保健室に行った後、教室へ戻ると、

「だいじょうぶ。」とまたみんなが声をかけてくれました。心があたたかくなり、うれしそでいっはいの一日でした。

次の日の昼休み、係の提案で

こおりおにをしている時、友達が集まっていた。行ってみると、足をくじいたと言っている友達がいました。私は、顔にボールがあたった時のことを思い出して、

「だいじょうぶ。」と声をかけました。すると、友達は、ほっとしたような顔になっていきました。そして、その友達が私たちに、

「ありがとう。」と言ってきました。私はほっとしました。助けてくれた人たちに、しっかりと「ありがとう」と言っている友達の姿が、いいなと思いました。私もこんなふうに言えればよかったなと思いました。

友達からのひと言をもらってうれしかったことが他にも

たくさんあります。私が、絵をかいていると、それを見た友達が

「うまいね。」と言ってくれた時は、うれしい気持ちになりました。また、算数の問題を解いている時に、友達が困っていたので、声をかけて教えたら、

「ありがとう。」と言ってくれました。私は、声をかけてよかったなと、ほっとしました。

「ありがとう。」や「だいじょうぶ。」、「すごいね。」という言葉は、たったひと言だけれど友達と友達をつなげる力があると思います。人を元気にさせたり、安心させたりするひと言です。そして、友達から友達へとどんどん言葉が広が

り、みんなが使っていくので

「ありがとう。」「だいじょうぶ。」など、心があたたまる言葉を使って、みんなが笑顔になれたらいいなと思います。私はこれからも心あたたまるひと言を大切にしていきたいです。

### 【評】

たったひと言でも、言葉には、人を元気にしたり、安心させたり、勇気付けたりする力があることに気付かせてくれる作文です。悠乃さんのように、みんなで友達の言葉を大切に、あたたかい言葉を広げていくような、優しいクラスや学校にしていけるといいですね。

広報やながわ

令和2年8月15日号 No.369

発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1  
編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520  
URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail [kouin@city.yanagawa.lg.jp](mailto:kouin@city.yanagawa.lg.jp)

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人から読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

# 柳川

広報やながわ

Public relations magazine of Yanagawa

8

15

2020.No.369

## CONTENTS

	ページ
部活動指導に強力な助っ人	2
有明海一斉清掃ほか	3
お知らせ掲示板ほか	4~7
人権・同和教育シリーズ	8

## 日本百名月認定を記念して 日本百名月フォトコンテスト開催

市内の月と掘割の風景が「水郷柳河の月」として「日本百名月」に認定されました。これを記念して、フォトコンテストを開催します。

- 応募期間 9月1日(火)～11月13日(金) 必着
- 応募作品テーマ 「水郷柳河の月」 ※作品の著作権は主催者へ帰属
- 賞金・賞品
- 柳川市長賞(1作品) 賞金10万円、副賞(柳川特産品詰合せ3万円分)
- 柳川観光協会会長賞(1作品) 賞金5万円、副賞(柳川特産品詰合せ1万円分)
- 優秀賞(5作品) 賞金3万円、副賞(柳川特産品詰合せ5000円分)

詳しくは、市観光協会(☎73・2145)へ問い合わせください。

※表紙の写真はイメージです。一部加工しています。